

「火宅」国際アニメフェスティバル・バルナ'81グランプリ受賞記念

川本喜八郎の世界

「旅」「犬儒戯画」—幻の2作を含む

全作品一挙上映!

●火宅 当日ロビーにて人形、小道具を展示します。



会場 = 日仏会館 (お茶の水駅 下車3分)

初公開の長編アニメ

●蓮如とその母

1月 / 11 Aプロ 日(月) 12 Bプロ 日(火) · 18 Bプロ 日(月) 19 Aプロ 日(火)

上映作品〔Aプロ〕花折り・鬼・道成寺・詩人の生涯・旅・犬儒戯画・火宅

上映作品〔Bプロ〕蓮如とその母・火宅 / 開映 6時半 ~ 終映 8時15分

入場料〔前売各プロ〕=1000円〔前売AB通し〕=1700円〔全席指定〕

(販売所)池袋文芸坐シネブティック、恵比寿シネブラザスペース50、荻窪 / アニドウ ☎ 予あり

提供: 川本喜八郎 / 主催: アニドウ ☎ 393-0344 / 協力: (株)エコー

ご あ い さ つ

最初の自主作品「花折り」を作ってから、もう13年になりました。人形アニメーションとかかわりあい、ということになると、なんと30年ということになります。こういう仕事で、よくやってこられたものだ、と不思議な気がします。

今回、はからずも「火宅」が、ハルナの国際アニメーション映画祭でアニメーション作家の最高の荣誉であるグランプリを、いただく



ことが出来たのを機会に、今まで作った自主の7本の作品に、演出を依頼された長篇1本を加えて、すべてを御覧いただき、これをひとときりとして、これからの方向を考えてみたいと思います。

今見ますと、中には恥かしいようなものもありますが、恥も肥料になるのでは、と思って上映に踏みきりました。今後とも、今までのように御支援いただければ幸いです。

1981年11月 川本喜八郎

花折り

●一九六八／16ミリ／14分

最初の自主作品として、桃山風の華やかな明い物語りを作ってみたかった。壬生狂言の同名の演目より取材した。

声の出演……黒柳徹子
音楽……小森昭宏

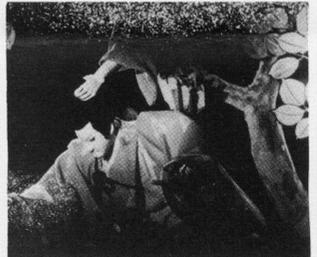


鬼

●一九七二／35ミリ／8分

今昔物語りの中に伝えられるこの不条理な説話は「戻り橋」など一連の鬼物語りの原形といわれている。漆黒に金の蒔絵のような闇の中に、この物語りを置いたら、ゾッとするような美しさが生れるのではないか、と思ったのが発端である。

音楽……三味線錦沢清二
尺八 山口五郎



火宅

●一九七九／35ミリ／19分

何の因果関係もなく、地獄の業火にさらされている処女、この不条理な物語りには、女に生れたための業といった、すさまじさがある。これは、「道成寺」よりも早く、作ってみたというプランがあつたが、映像として伸々まともでない難しい題材だった。

語り……観世静夫
音楽……武満 徹



スタッフ（自主七作品のスタッフ）
フ。パットこと。アイウエオ題
撮影／田村実・宮澤みきお・吉岡謙
照明／野村隆三
美術／小前隆・徳山正美・中川涼・原口智生・三木淳一・壬生露彦
人形／川本喜八郎・高橋佳代子・徳坂かほる・若佐ひろみ
アニメーション／石川隆男・及川功一・大向とき子・尾崎良・川本喜八郎・秦泉寺博・峰岸裕和・宮澤みきお・吉田悟
録音／甲藤勇
効果／高橋巖
編集／相沢尚子
題字／後藤英夫

詩人の生涯

●一九七四／35ミリ／19分

安部公房の短篇より。今はジャケツという言葉も知らない若い人々が多いが、毛糸で編んだジャケツのことである。昭和20年代は、今よりも遠い昔のようになつてしまった。時代の証人になろうとした主人公に強い共感を覚え、このアニメーションを作つた。

音楽……湯浅譲二

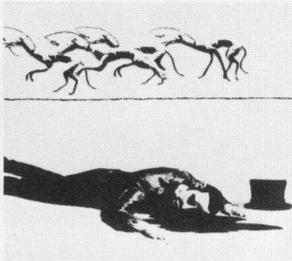


犬儒戯画

●一九七〇／35ミリ／8分

横光利一の短篇「シルクハット」を自由に脚色した。ファシズムの中で大衆に、いかに真実の声がとどきにくい、かという寓話を作ってみたかった。

声の出演……ニコラ・パタイユ



道成寺

●一九七六／35ミリ／19分

「道成寺」は、日本人なら誰でもやってみたもの一つで、色々なジャンルで色々な試みられている。人形アニメーションという新しいメディアの中で、永遠のテーマである男の業、女の業の悲しさ、恐ろしさを表現してみたかった。

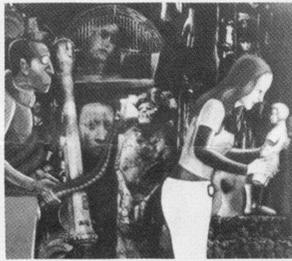
音楽……松村植三



旅

●一九七三／35ミリ／12分

人生の旅、それは昔の認識、しかし、それを認識したかといつて、自分のまわりの世の中は何も変わらない。自分を変つてしまった。蘇東坡の旅の詩よりイメージを作つた。



蓮如とその母

●一九八一／35ミリ／92分

これは、滋賀県同和問題研究所など四団体が制作にあつた。私としてははじめての長篇で、今までの自主の短篇を、詩を作るような気持で作つたのとは違い、小説を書くような気持で演出にあつた。セリフ、モーションなど、沢山の難所をくぐりぬけなければならなかったが、スタッフの惜しめない協力で、長篇を作るのは、短編とはまた違う面白さがある、ということを見つけた。

スタッフ、キャスト
原作……平井 清隆
脚本……本 新藤 兼人
監督……川本喜八郎
プロデューサー……安東 民児
音楽……武満 徹
撮影……田村 実
美術……徳山 正美
小前 隆
人形製作……川本喜八郎
佐藤 三郎
アニメーション……川本喜八郎
峰岸 裕和
エフエクトアニメ……秦泉寺博
録音……申藤 勇
編集……相澤 尚子
【声の出演】
蓮 如……大門 正明
おれん……渡辺美佐子
母……蓮 祐……池上季美子
妻……住……三浦連太郎
道 覚……小沢 昭一
友情出演……黒柳 徹子
岸田今日子
語 作……小池 朝雄
制 作……「蓮如とその母」
映画製作推進委員会